

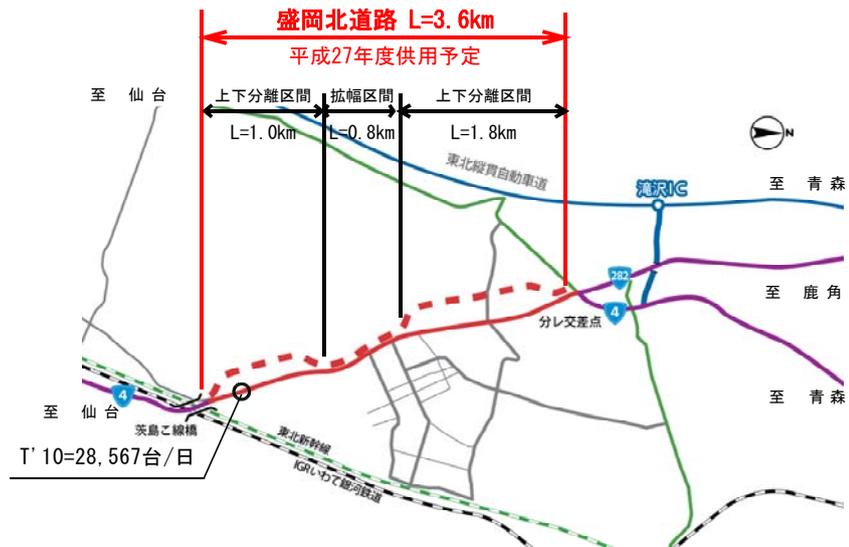
## 再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道4号 <small>もりおかきた</small> 盛岡北道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自： <small>いわて もりおか くりやがわさんちようめ</small> 岩手県盛岡市厨川三丁目 至： <small>いわて いわて たぎざわ あざすご</small> 岩手県岩手郡滝沢村字菓子	延長	3.6 km		
<b>事業概要</b> 一般国道4号は、東京都中央区と青森県青森市を結び、広域交流の支援ならびに沿線市町村の連携強化を図る幹線道路である。 盛岡北道路は、国道4号茨島こ線橋～分し間の慢性的な交通混雑の解消、交通安全の確保を図り、交通環境の改善を目的とした事業である					
H19年度事業化		H20年度都市計画決定		H21年度用地着手	
全体事業費		44億円		事業進捗率	
計画交通量		36,600台/日		供用済延長	
費用対効果分析結果		総費用 (残事業)/事業全体 39億円/54億円 事業費：24億円/39億円 維持管理費：15億円/15億円		総便益 (残事業)/事業全体 211億円/211億円 走行時間短縮便益：200億円/200億円 走行経費減少便益：6億円/6億円 交通事故減少便益：6億円/6億円	
感度分析の結果		【全体事業】交通量変動：B/C=3.6～4.0(交通量 ±10%) 事業費変動：B/C=3.8～4.1(事業費 ±10%) 事業期間変動：B/C=3.8～4.1(事業期間±20%)			
感度分析の結果		【残事業】B/C=5.0～5.6(交通量 ±10%) B/C=5.1～5.8(事業費 ±10%) B/C=5.3～5.6(事業期間±20%)			
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保 (混雑が解消されるとともに、混雑に起因する追突事故など事故危険性の低下が見込まれる) ・安全で安心できるくらしの確保 (岩手医科大学付属病院(3次救急医療施設)へのアクセス性向上が見込まれる) 他 13項目に該当					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ○岩手県知事の意見 ・「対応方針(原案)」案に対して異議ありません。 「盛岡北道路」は、国道4号の交通混雑の解消や安全性の向上を図るため重要な事業であることから、早期の完成に向け、事業の進捗を図って頂きたい。 なお、事業実施に当たっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。 ○以下の団体等から、盛岡北道路の整備促進について要望あり。 ・盛岡市(市長) ・岩手県岩手郡町村議会議長会(岩手町、滝沢村、雫石町、葛巻町)					
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 対応方針(原案)どおり「継続」が妥当である。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・事業進捗率34%(うち用紙進捗率57%)					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・事業進捗に係る問題はなく、平成27年度の供用を目指す。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・再生資材(再生砕石、再生アスファルト合材等)の活用によりコスト縮減。					
対応方針		事業継続			
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。